

病防第93号  
平成23年11月30日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察特殊報について（送付）

このことについて、発生予察特殊報第3号を発表しましたので送付します。

## 特 殊 報

平成23年度発生予察特殊報第3号

平成23年11月30日

熊本県病虫害防除所長

- 1 病虫害名 チャトゲコナジラミ
- 2 学 名 *Aleurocanthus camelliae* Kanmiya and Kasai
- 3 発生作物 チャ
- 4 発生確認の経過

平成23年11月に熊本県内の茶園において、すそ部（下位葉）にすす病の発生が見られ、葉裏にトゲコナジラミ類幼虫の寄生を確認した。採集した幼虫を久留米大学比較文化研究所の上宮健吉博士に同定依頼した結果、本種であることが確認された。

### 5 国内の発生状況

本種は平成16年に京都府のチャで初めて確認され、現在までに福岡県、大分県等、15都府県で発生が確認されている。なお、本種は当初ミカントゲコナジラミのチャ系統として発生及び被害が報告されてきたが、平成23年3月に新種として命名記載された。

### 6 形 態

- (1) 成虫の体長は雌が約1.3mmで、雄が約1.0mmである。前翅は紫褐色で不整形の白斑がある。体は橙黄色であるが白粉で覆われているため灰色に見える（図1）。
- (2) 1齢幼虫は淡黄色、2～4齢幼虫（図2）は光沢のある黒色で周囲に白色ロウ物質があり、周囲と背面に多数の刺毛を有する。4齢幼虫は長さ約1mmである。
- (3) 卵は長さ0.2mm、黄～褐色の勾玉状で、基部には短い柄があり葉裏に産卵される。

### 7 生 態

- (1) 卵、1～4齢幼虫を経て成虫になる不完全変態の昆虫である。例えば京都府においては年間3～4世代を繰り返し、越冬世代成虫の発生時期が一番茶摘採期と重なる。
- (2) 1齢幼虫は歩行により移動できるが、2～4齢幼虫は葉裏に固着しほとんど動かない（図3）。

(3) 成虫の寿命は約4日と短い、羽化後間もなく交尾し、主に葉裏に産卵する。また、他のコナジラミ類と同様、黄色に誘引されるため、黄色粘着トラップで成虫の発生を確認することができる。

(4) チャの他、サカキ、ヒサカキ、サザンカ、シキミ等にも寄生する。

## 8 被害

成虫及び幼虫によって葉が吸汁加害される他、幼虫が排泄する甘露によりすす病が発生する(図4)。

## 9 防除対策

(1) 幼虫は下位葉、成虫は新芽によく集まるので、定期的にこれらの部分の葉裏を観察し、早期発見に努める。

(2) 成虫は他のコナジラミ類と同じく黄色に誘引されるため、黄色粘着トラップを茶園に設置し、発生を確認する。

(3) 本種の発生が見られた園では早期に薬剤による防除を行い、葉裏によくかかるよう丁寧に散布する。

(4) 越冬時期にマシン油乳剤による防除を行う。

(5) 一番茶あるいは二番茶摘採後に深刈りせん枝を行い、幼虫の密度を下げる。なお、せん枝した枝葉は本種の発生源となるため、放置せず土中に埋没する等適切に処理する。

(6) 発生地域からの苗木、生葉及び人等の移動による本種の拡散に注意する。

なお、防除については「チャの新害虫チャトゲコナジラミの防除マニュアル」(ミカントゲコナジラミ(チャトゲコナジラミ)研究推進連絡協議会 2011)を参照の事。

(<http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryu2/index.html>)

### 問い合わせ先

熊本県病虫害防除所

(生産環境研究所) 清永、山口

(<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>)

TEL:096-248-6490

FAX:096-248-6493



図1 成虫



図2 幼虫



図3 被害葉



図4 すず病の発生